

● 日時

2025年
3月18日(火)
10:00-17:00

● 会場

東京科学大学
大岡山キャンパス
南1号館215室

東京
開催

岩手大学 分子接合技術研究センター
オープンイノベーションフォーラム

先進工学

I. 基調講演

挨拶「岩手大学分子接合技術研究センターについて」

岩手大学 分子接合技術研究センター長/岩手大学 理工学部 教授 芝崎祐二

講演1「原子間力顕微鏡を用いた高分子ナノメカクス - 接着分野への応用も含めて -」

東京科学大学 物質理工学院 教授 中嶋 健 氏

講演2「半導体チップレット集積と後工程プロセスの研究開発動向」

横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 井上 史大 氏

講演3「高精度X線ミラー製造技術の開発と放射光高速X線撮像による加工現象観察」

東京大学 先端科学技術研究センター 教授

理化学研究所 放射光科学研究センター チームリーダー 三村 秀和 氏

II. 岩手大学 分子接合技術研究センターのシーズ技術のご紹介 (ブースでのポスター展示)

<シーズ技術>

無機

- ✓ 層状複水酸化物を基材としたドラッグキャリア材料の開発
- ✓ 多価アルコール/層状複水酸化物の合成とそのポリ塩化ビニルファイバーへの応用

有機

- ✓ 光反応性シランカップリング剤の創製と分子接合剤としての応用

接着

- ✓ 異種材料接合における平滑界面形成技術とその応用

高分子

- ✓ カリックスアレーン接着剤・改質剤
- ✓ 耐熱高屈折率樹脂
- ✓ 低誘電ポリマー
- ✓ バイオマスからの高分子電解質材料

分析

- ✓ 蛍光測定による高分子構造の分析

バイオ

- ✓ 未利用資源を原料とした微生物が合成するバイオプラスチック
- ✓ 生分解プラスチックの海洋生分解性評価

環境

- ✓ 高分子添加剤の環境リスク：タイヤ製品を中心に

医療

- ✓ フレキシブル多点電極で読み解く嚥下(えんげ)の科学

プログラム詳細・申込は次のページへ



プログラム

- 10:00-10:10 挨拶「岩手大学分子接合技術センターについて」
岩手大学 分子接合技術研究センター長/理工学部 教授 芝崎 祐二
- 10:10-10:50 講演1「原子間力顕微鏡を用いた高分子ナノメカニクス
ー接着分野への応用も含めてー」
東京科学大学 物質理工学院 教授 中嶋 健 氏
- 10:50-11:30 講演2「半導体チップレット集積と後工程プロセスの研究開発動向」
横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 井上 史大 氏
- 11:30-13:00 昼休み
- 13:00-13:40 講演3「高精度X線ミラー製造技術の開発と放射光高速X線撮像による
加工現象観察」
東京大学 先端科学技術研究センター 教授
理化学研究所 放射光科学研究センター チームリーダー 三村 秀和 氏
- 13:45-14:45 岩手大学 分子接合技術研究センター シーズ技術の紹介プレビュー
- 15:00-17:00 ポスター発表
- 17:00 閉会

基調講演 講師紹介



東京科学大学
物質理工学院
教授

中嶋 健 氏

物質の表面・界面の第一人者。高分子の構造と物性をナノスケールで調べることで、マクロな物性に繋げるような研究を進めています。



横浜国立大学
大学院工学研究院
准教授

井上 史大 氏

半導体の国際研究機関imecに約10年間勤務。3DHIアライアンスの代表として日本の半導体産業の成長を牽引しています。



東京大学
先端科学技術研究センター 教授
理化学研究所
放射光科学研究センター チームリーダー

三村 秀和 氏

超精密加工とX線光学を専門とし、ナノ精度の加工、計測、転写（量産）を目指した新しい生産技術の開発に取り組んでいます。

参加申込方法

申込期限：**3月5日(水)**



(参加申込フォーム)

<https://forms.gle/A4Cta8AnowereKEg6>

参加費：**30,000円** 定員：**40名**

- フォーラム終了後、5営業日以内に、参加費の請求書をメールでお送りします。請求書に記載の振込期限までに、参加費のお振り込みをお願いします。(振込期限は4月末を予定)

会場アクセス

東京科学大学 大岡山キャンパス
大岡山南地区 南1号館 (32) 215室
(〒152-8550 東京都目黒区大岡山2丁目12-1)

● 所在地



(GoogleMAP)

● キャンパスマップ



(東京科学大学
Webサイト)

問い合わせ先

岩手大学 分子接合技術研究センター 事務局 (岩手大学 研究・地域連携課)



isb-office@iwate-u.ac.jp



https://www.cord.iwate-u.ac.jp/ecosystem_news/eco_info/6577/